

会

報

社団法人 日本病理学会  
 〒113-0034  
 東京都文京区湯島1-2-5  
 聖堂前ビル7階  
 TEL: 03-6206-9070  
 FAX: 03-6206-9077  
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp  
 http://pathology.or.jp

社団法人日本病理学会

第295号

平成24年(2012年)8月刊

## 1. 理事会および総会

平成24年3月2日にホテル機山館(東京), および4月25日に京王プラザホテルにて理事会が開催され, 4月26日には学術評議員会・病理専門医部会, 4月27日には総会が開かれた。総会の席上で, 第13回(平成23年度)学術奨励賞授賞式が行われた。これらの理事会, 学術評議員会および総会では, 理事長, 委員会委員長の報告があった。協議事項としては, 総会においては平成23年度事業報告並びに収支決算報告, 平成24年度収支予算修正案, 新名誉会員の推戴者並びに新学術評議員の候補者, 定款施行細則および役員規定変更案, 平成24/25年度役員の件, が諮られ, それぞれ理事会承認の原案どおり決定した。また理事会では, 第101回総会開催の件, 各種委員会委員の選出, 平成23年度下期の新入会員118名(年度合計255名)が, 協議の結果それぞれ原案のとおり承認された。

## 2. 学術集会

### (1) 第101回総会(平成24年度)

慶應義塾大学を世話機関として岡田保典会長, 坂元亨宇副会長のもとで, 平成24年4月26日(木)~4月28日(土)の3日間, 京王プラザホテルで開催された。

宿題報告は, 澤田典均教授(札幌医科大学)による「生体バリアを担うタイト結合の機能病理学」, 中村卓郎部長(がん研究所)による「白血病と骨軟部腫瘍の発生機序: 遺伝子変異とそのネットワーク, 発生起源の理解に向けて」, 上田真喜子教授(大阪市立大学)による「ヒト動脈硬化の病理-新生内膜増殖とプラーク不安定化のメカニズム-」の3題であった。

特別講演は, 川口淳一郎先生(宇宙航空研究開発機構)による「“はやぶさ”が挑んだ人類初の往復宇宙飛行, その7年間の歩み」, 岡野栄之教授(慶應義塾大学)による「再生医学・医療の現状と将来: iPS細胞を用いた神経再生・疾患研究」の2題, 教育講演は, Dr. William David Travis(Memorial Sloan Kettering Cancer Center)による「肺癌の病理」, 高尾昌樹部長(東京都健康長寿医療センター)による「病理医に必要な神経病理学」, Dr. Donna E. Hansel(Case Western Reserve 大学)による「膀胱癌の病理」, 森井英一教授(大阪大学)による「癌幹細胞」, 村上善則教授(東京大学)による「がんの浸潤, 転移と上皮間葉転換」, Dr. Elizabeth M. Brunt(Washington 大学)による「非アルコール性脂肪性肝疾患の病理」, 柳井広之教授(岡山大学)に

よる「子宮体癌の病理」, 安田政実教授(埼玉医科大学)による「卵巣腫瘍の病理」, 矢作直久教授(慶應義塾大学)による「内視鏡手術の進歩と外科病理」の9題が行なわれた。

また, 岡田保典教授(慶應義塾大学)による会長講演「組織破壊とリモデリングの病理学的研究: 統括病理学の時代を迎えて」も行われた。一般演題は1,111題が発表された。

このほかシンポジウム3件, ワークショップ10件, 病理学入門シリーズ8件, ランチョンセミナー21件, モーニングセミナー1件, イブニングセミナー1件, コンパニオンミーティング10件, 学生ポスター発表, および学術奨励賞受賞者ポスター発表も行われた。

また, 系統的・剖検病理診断講習会(感染症の病理, 剖検講習会, 分子標的療法と病理診断)および臓器別病理診断講習会(循環器, 甲状腺, 中皮腫, 骨軟部)が開かれた。

学術集会閉会後には市民公開講座も開催された「我が国における最先端がん治療」。

### (2) 今後予定されている総会は以下のとおりである。

#### 1) 第58回(平成24年度)秋期特別総会

世話機関: 藤田保健衛生大学

会長: 黒田 誠教授

会期: 平成24年11月22日(木)~23日(金)

会場: ウィンクあいち(名古屋)

#### 2) 第102回(平成25年度)総会

世話機関: 札幌医科大学

会長: 佐藤昇志教授

会期: 平成25年6月6日(木)~8日(土)

会場: ロイトン札幌

#### 3) 第59回(平成25年度)秋期特別総会

世話機関: 山梨大学

会長: 加藤良平教授

会期: 平成25年11月21日(木)~22日(金)

会場: 富士屋ホテル(甲府)

#### 4) 第103回(平成26年度)総会

世話機関: 広島大学

会長: 安井 弥教授

会期: 平成26年4月24日(木)~26日(土)

会場: 広島国際会議場他

## 3. 各種委員会報告(東京 総会時)

### (1) 深山正久理事長より今期の所信が述べられた。

- ① 病理学会の目的は「病理学の学理と応用についての研究の振興、その普及を図り、もって学術の発展と人類の福祉に寄与する」ことにある。この使命を達成するため、国民の理解と支援を受けた病理学会をともに築いていきたい。
  - ② 現在の日本病理学会の最重要課題は、「後継者のリクルート・育成」である。病理医の重要性についての広報、研究医・病理医育成、基盤整備の三本柱の行動方針でこの課題に立ち向かいたい。
  - ③ 追い風といえる要素として、がん対策推進基本計画は現在改定が進められているが、病理医不足の深刻さが認識されており、その対策として若手病理診断医の育成や、病理関連業務を専門とする臨床検査技師の適正配置などが書かれている。
  - ④ また、保険診療の報酬改定も行われ、病理診断管理加算が認められ、複数病理医を雇用する施策がとられている。
  - ⑤ これまでの諸先輩の努力を継承し、「病理診断科標榜」、「病理診断の診療報酬13部としての独立」につながった粘り強い働きかけを再開したい。
  - ⑥ 学問分野としての病理学においても、研究医の不足が問題となっている。病理学の診療、研究に積極的に加わる若い世代のために、基金を活用して環境を整備し、前進していきたい。
  - ⑦ 学会発展の基盤である、若手病理医・研究医を応援する施策として下記を実施、計画している。
    - I 会費の値下げを行った。
    - II 若手病理医・研究医のリクルート委員会を設置した。
    - III 病理専門医研修者の登録と、研修医手帳の配布を開始した。「診断病理」の無料配布も開始する。
    - iv 剖検講習会、細胞講習会、病理学会カンファランスを開催している。
    - vi 昨年度より100周年記念病理学研究新人賞の授与がはじまった。
    - vii その他学部学生を対象とした各種施策も行っている。
  - ⑧ 現在の日本病理学会の状況は、会員数4,205名、正会員のうち、学術評議員は1,311名、一般会員は2,451名である。医師の会員は82%、歯科医師の会員は7%で、合わせて約9割が医師・歯科医師からなっている。また、病理専門医は2,120名である。さらなる増員を目指したい。
- (2) 深山理事長より、秋期総会以降の理事長報告があった。
    - ① 100周年記念事業特別基金プロジェクトとして選定した、「夏の学校支援」、「精度管理」、「研究新人賞授与」、「支部育児支援」が順調に進んでいる。「事務局移転」は湯島の「聖堂前ビル」を選定し、7月の移転に向け準備中である。
    - ② 外部関連団体への分担金、委員の派遣などをいくつか決定している。これについては関連した病理学会の委員会で推薦し、理事会、常任理事会で承認するという仕組みで進めたい。  
尚、日本医療安全調査機構、日本医学会に関しては、分担金を支払う形に移行予定である。
    - ③ 会務の体制として、企画、広報、学術、研究推進、編集、財務、教育、国際交流、生涯教育、専門医制度、口腔病理、医療業務、支部、死因究明といった各委員会を4つのグループに分け、それぞれに常任理事もしくは副理事長が担当する形を考えている。このグループに従い、以下各理事より報告をおこなう。
  - (3) 落合淳志理事より企画関係委員会につき、委員長の紹介と報告がされた。
    - ① 企画委員会（落合淳志委員長）では、今後急激に増加するがん患者の診療に求められる病理体制についての提言をまとめる。
      - I がん診断体制委員会（落合淳志委員長）を設置。
      - II その中でも「癌取扱い規約」委員会は、各規約の用語、改訂時期の統一を目標とする。
      - III さらに病理診断に対する適切なガイドラインを病理学会が責任を持って作っていく必要性を考慮し、「病理診断ガイドライン委員会」を立ち上げる。
    - ② 将来構想委員会（佐々木毅委員長）では、病理診断体制、病理医の支援体制、女性病理医の支援、若手病理医の海外留学等に対する支援、いわゆる「教室プローベ」等の問題点、若手のみならず定年後の就業問題を検討する。
    - ③ 病理医・研究医のリクルートと育成委員会（豊國伸哉委員長）では、病理医、研究医の両者の増員を目指す。100周年記念病理学新人賞の推薦も行う。
    - ④ 男女共同参加委員会（大橋健一委員長）も活動を継続する。
    - ⑤ また、企画委員会で下記のような個別の問題も指摘された。一つ目は、病理医や専門医の減少に対して、今後病理学会が病理診断体制の方向性を討議、決定する必要性。
    - ⑥ 二つ目はJCOGなど、我が国で行われている臨床試験の病理標本を用いたものについて、日本における臨床試験が適切に行われるために、病理学会として適切に対応する必要性。
    - ⑦ 三つ目は新人賞や、その他の賞授与につき、各関連委員会が連携し、病理学会全体として、各賞の考え方を確認すること。
    - ⑧ 最後に男女共同参加委員会については、育児をしながらでも病理ができるような支援体制の構築なども検討し、病理学会における男女共同参加を目指す。

- (4) 議長の岡田理事（財務委員長）に代わり深山理事長より、財務、教育、国際交流、生涯教育等関係委員会について委員長の紹介と報告がされた。
- ① 財務委員会報告（岡田保典委員長）は後ほど協議事項で取り扱う。
  - ② 教育委員会（上田真喜子委員長）では、各支部開催の「夏の学校」について、100周年記念事業からの支援プロジェクトを活用し、充実に努める。その他、総会時に開催される学生ポスターセッションについて、また「病理コア画像」の充実等についても検討を行っていく。
  - ③ 国際交流委員会（笹野公伸委員長）では、日英、日独交流事業については、講演者の招聘年にあたらない年が隔年で発生するため、その年は、他の国からの講師招聘を積極的に行う。日中交流事業も日中交流ワークショップ等を含めて継続する。また、秋期総会時のアジア諸国の若手病理医発表支援も引き続き行う。
  - ④ 生涯教育委員会（森永正二郎委員長）は、生涯教育の重要性を重視し、今期新設した委員会である。診断講習会委員会（鬼島 宏委員長）、支部学術連絡委員会（吉野 正委員長）等の活動も通じて、対応していく。
- (5) その他理事長関係委員会について深山理事長より委員長の紹介と報告がされた。
- ① 倫理委員会（伏木信次委員長）では、病理解剖・症例報告に関する倫理的問題や、病理検体の教育・研究利用などについて検討予定である。アンケートの実施も検討している。
  - ② COI委員会（伊藤雅文委員長）では、昨期のガイドライン策定に引き続き、役員の申告審査等を担当している。
  - ③ リスクマネジメント委員会（黒田誠委員長）では緊急事態発生時、訴訟問題などが起こった場合に対応を行う。
  - ④ 一般社団法人移行WG（深山正久座長）報告は後ほど行う。
- (6) 安井 弥理事（学術委員長）より、学術、編集関係委員会について委員長の紹介と報告がされた。
- ① 学術は本学会の柱として、いわゆる診断、実験のバランスをもって学術活動の推進に向けて取り組む。そのため学術委員会、研究推進委員会、編集委員会の連携強化を図る。実務面では学術奨励賞の選考の申請書、推薦書を改定することとした。
  - ② 研究推進委員会（小田義直委員長）では、今年8月3日・4日、山口市・湯田温泉開催の第9回病理学会カンファレンス「血管生物学から挑む疾患病態解析」の準備を山口大学・池田教授を世話人として進めている。若手の参加を喚起されたい。第10回病理学会カンファレンスは関西地区ということで、廣田誠一委員が検討し、神戸大学の横崎宏教授が世話人の予定である。また、今後開催地を固定すること等についても検討する。
- ③ I 編集委員会（高橋雅英委員長）では、「Pathology International」「診断病理」の編集状況が順調であることが報告されている。「Pathology International」は本年度の委員改選にあたるため、より充実に努める。
    - II 出版物の病理学会としての編集協力については、病理学会自体が企画し、編集者、著者を選んだようなもの以外には、病理学会の名前は使用しない方針とした。
    - III 韓国病理学会から、学会誌「Basic and Applied Pathology」を「Pathology International」に吸収してほしいというオファーがあり、現在、編集委員会で基本的には前向きに検討している。
- (7) 黒田 誠理事（病理専門医制度運営委員長）より、主に専門医関係委員会について委員長の紹介と報告がされた。
- ① 病理専門医試験委員会（北川昌伸委員長）と実施委員会（非公開）では、7月28日・29日に名古屋大学で昨年同様に試験を行うため、準備を進めている。
  - ② 病理専門医資格審査委員会（小西登委員長）では、今月下旬に専門医試験受験申請者の審査を行う。5月2日が今年の試験の申請の締め切りであるので、学会終了後には所属機関の受験者の書類を確認されたい。
  - ③ 施設審査委員会（清水道生委員長）では、今年の更新病院の審査を行った。
  - ④ 専門医部会報編集委員会は村田哲也委員長である。
  - ⑤ 口腔試験関係委員会についても医科と同様に、試験委員会（豊澤悟委員長）、資格審査委員会（原田博史委員長）、実施委員会（非公開）が、医科と同日開催の口腔病理専門医試験にむけて現在順調に準備を進めている。
  - ⑥ 医療業務委員会（白石泰三委員長）は活動が多岐にわたり、関連委員会として下記のものがある。
  - ⑦ コンサルテーション委員会（松野吉宏委員長）では学会以外のシステムとの整理を含めて検討する。
  - ⑧ 社会保険委員会（稲山嘉明委員長）活動は、本日夜のセッションで詳細の説明を行う。
  - ⑨ 剖検医療技術委員会（柳井広之委員長）からは、剖検の講習会を各支部単位でも多彩に行うこと等が提案されている。
  - ⑩ 精度管理委員会（増田しのぶ委員長）は、内容的にかなり熟成してきたので、継続する。
  - ⑪ 診療関連死検討委員会（黒田誠委員長）から「モデル事業」の現状について報告が述べられた。

- ⑫ 支部委員会（加藤良平委員長）では、支部の病理専門医活動の面も重要視していく。
- (8) 深山理事長より、広報関係委員会につき委員長の紹介と報告があった。
- ① 広報委員会（根本則道委員長）の下に、市民公開講座促進委員会（伊藤智雄委員長）、病理ネットワーク管理運営委員会（宇於崎宏委員長）を設置し、活動する。病理ネットワーク管理運営委員会では、100周年記念事業としてネットワーク構築のための基盤をつくっている。バーチャルライドの利用等についても検討中で、もう少し形が整った段階で会員の意見を伺う予定である。
- ② 編集委員会の一つに、剖検情報委員会（根本則道委員長）があり、これは日本大学病理学教室の多大な努力によって担われてきたが、事務実務だけでも事務局で行う形に移行していきたい。

#### 4. 平成 23 年度事業報告並びに決算報告

平成 23 年度事業報告並びに収支決算報告は以下のとおりである。協議の結果、提案は承認された。

##### (1) 平成 23 年度事業報告

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日まで

##### I. 学術集会、研究会等の開催

###### 1. 学術集会の開催

- (1) 「第 100 回日本病理学会総会」（於横浜・深山正久会長）を開催
- (2) 「第 57 回日本病理学会秋期特別総会」（於東京・諸星利男会長）を開催

###### 2. 研究会、講習会等の開催

- (1) 第 8 回日本病理学会カンファレンス（於松本市 8 月 5 日・6 日）を開催
- (2) 細胞診講習会（於東京都 6 月 4 日〈前年度分補講〉平成 24 年 3 月 10 日・11 日）を開催
- (3) 病理診断講習会（於横浜市 4 月 28 日～30 日）を開催
- (4) 第 5 回診断病理サマーフェスト（於京都市 8 月 27 日・28 日）を開催
- (5) 各支部における学術・研究集会を開催

###### 3. 市民公開講座の開催

##### II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」（第 100 巻第 1～2 号）を発行
2. 「Pathology International」(Vol.61 4～12, Vol.62 1～3) を発行
3. 「診断病理」(第 28 巻第 2～4 号, 第 29 巻第 1 号) を発行
4. 「日本病理学会会報」（第 279～290 号）を発行
5. 「お知らせ」（第 5 号～7 号）を発行
6. 「病理専門医部会報」（2011 年 第 2～4 号, 2012 年 第 1 号）を発行

##### III. 研究および調査

1. 「日本病理剖検輯報」第 52 輯（平成 21 年症例）を発行
2. 剖検輯報編集方法を充実
3. 剖検記録データベースを更新

##### IV. 病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定試験（於名古屋市）及び資格更新を実施
2. 病理専門医の広告
3. 「病理専門医研修ファイル」を配布
4. 病理専門医研修施設の認定、資格更新を実施

##### V. 学術団体との協力、連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援（国内）を実施
2. 腫瘍取扱い規約等の改訂
3. 海外病理学会との交流
  - (1) 英国病理学会との会員の相互派遣、学術交流を実施
  - (2) ドイツ病理学会との学術交流を実施
  - (3) アジア各国との学術交流を実施

##### VI. その他目的を達成するために必要な事業

1. 日本病理学会賞（宿題報告）を 2 名に授与
2. 日本病理学会学術奨励賞を 7 名に授与
3. 日本病理学会学術研究賞（A 演説）を 9 名に授与
4. 病理学卒前教育の充実
5. 病理診断コンサルテーションシステムを実施
6. インターネットホームページを改定
7. 病理専門医制度運営、医療業務、学術・研究等各種委員会を開催
8. 日本病理学会 100 周年記念事業を実施
9. 医師賠償責任保険加入取扱い実施

##### (2) 平成 23 年度収支決算報告

###### 1) 収支計算書

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 収入の部				
1. 基本財産運用収入	15,000	6,013	△ 8,987	
受取利息収入	15,000	6,013	△ 8,987	
2. 会費収入	57,630,000	66,804,000	9,174,000	
正会員・学術評議員会費収入	22,400,000	25,152,000	2,752,000	
同一般員会費収入	22,740,000	28,231,000	5,491,000	
学生会員会費収入	10,000	0	△ 10,000	
賛助会員会費収入	150,000	50,000	△ 100,000	
機関会員会費収入	330,000	355,000	25,000	
病理専門医部会費収入	12,000,000	13,016,000	1,016,000	
3. 事業収入	131,700,000	162,006,292	30,306,292	
学術集会収入	90,000,000	115,443,186	25,443,186	
論文掲載料収入	900,000	1,168,681	268,681	
広告料収入	800,000	599,400	△ 200,600	
刊行物発行収入	13,000,000	10,816,500	△ 2,183,500	
専門医制度収入	16,000,000	18,449,000	2,449,000	

病理専門医部会収入	4,000,000	2,302,910	△ 1,697,090	
講習会等収入	4,500,000	4,917,000	417,000	
支部総会等収入	0	5,644,205	5,644,205	
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,665,410	165,410	
<b>4. 補助金収入</b>	<b>0</b>	<b>5,100,000</b>	<b>5,100,000</b>	
受取補助金収入	0	5,100,000	5,100,000	
<b>5. 寄付金収入</b>	<b>0</b>	<b>3,135,000</b>	<b>3,135,000</b>	
受取寄付金収入	0	500,000	500,000	
100周年記念事業寄付金収入	0	2,635,000	2,635,000	
<b>6. 特定資産取崩収入</b>	<b>25,000,000</b>	<b>30,143,457</b>	<b>5,143,457</b>	
100周年記念事業引当預金取崩収入	25,000,000	17,243,457	△ 7,756,543	
退職給付引当預金取崩収入	0	12,900,000	12,900,000	
<b>7. 雑収入</b>	<b>2,100,000</b>	<b>8,830,892</b>	<b>6,730,892</b>	
受取利息収入	100,000	23,366	△ 76,634	
雑収入	2,000,000	8,807,526	6,807,526	
<b>8. 繰入金収入</b>	<b>0</b>	<b>3,640,000</b>	<b>3,640,000</b>	
繰入金収入	0	3,640,000	3,640,000	
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>216,445,000</b>	<b>279,665,654</b>	<b>63,220,654</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>92,521,000</b>	<b>120,058,273</b>	<b>27,537,273</b>	
<b>収入合計 (B)</b>	<b>308,966,000</b>	<b>399,723,927</b>	<b>90,757,927</b>	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
<b>II. 支出の部</b>				
<b>1. 事業支出</b>	<b>166,000,000</b>	<b>219,925,119</b>	<b>53,925,119</b>	
学術集会経費	89,000,000	118,207,164	29,207,164	
学会誌発行経費	15,000,000	18,847,459	3,847,459	
会報・お知らせ発行経費	2,000,000	1,696,375	△ 303,625	
剖検輯報刊行経費	11,000,000	14,565,381	3,565,381	
専門医制度運営経費	10,000,000	12,651,885	2,651,885	
病理専門医部会経費	8,000,000	7,947,748	△ 52,252	
学術奨励等経費	3,000,000	3,519,561	519,561	
講習会等経費	3,500,000	4,340,517	840,517	
各種委員会経費	3,500,000	3,319,681	△ 180,319	
事業人件費	8,000,000	5,008,624	△ 2,991,376	
租税公課	0	0	0	
100周年記念事業経費	13,000,000	11,921,174	△ 1,078,826	
100周年記念プロジェクト経費	0	307,363	307,363	新設
委託費	0	1,734,330	1,734,330	
支部総会等経費	0	15,857,857	15,857,857	
<b>2. 管理費</b>	<b>32,050,000</b>	<b>59,822,963</b>	<b>27,772,963</b>	
人件費	10,000,000	12,816,397	2,816,397	
退職給付費用	0	12,918,869	12,918,869	
福利厚生費	2,500,000	2,871,378	371,378	
交通費	400,000	612,370	212,370	
通信運搬費	2,700,000	2,088,796	△ 611,204	
会議費	2,000,000	5,138,152	3,138,152	
印刷費	2,000,000	1,715,528	△ 284,472	
備品費	200,000	0	△ 200,000	
消耗品費	300,000	801,200	501,200	
光熱費	250,000	216,331	△ 33,669	
賃借料	4,000,000	4,080,358	80,358	
諸会費	900,000	850,000	△ 50,000	
補助金	0	0	0	
修繕費	100,000	0	△ 100,000	
保険料	0	17,990	17,990	
嘱託料	2,500,000	3,128,500	628,500	
租税公課 (消費税等)	700,000	1,129,100	429,100	

(法人税等)	3,000,000	694,200	△ 2,305,800	
雑費	500,000	10,743,794	10,243,794	
100周年記念事業管理経費	0	0	0	
<b>3. 特定預金支出</b>	<b>13,600,000</b>	<b>4,235,000</b>	<b>△ 9,365,000</b>	
退職給付引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0	
100周年記念事業引当預金取得支出	12,000,000	2,635,000	△ 9,365,000	
<b>4. 固定資産支出</b>	<b>0</b>	<b>1,578,780</b>	<b>1,578,780</b>	
保証金取得支出	0	1,578,780	1,578,780	
<b>5. 予備費</b>	<b>1,100,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,100,000</b>	
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>212,750,000</b>	<b>285,561,862</b>	<b>71,233,082</b>	
<b>当期収支差額 (A-C)</b>	<b>3,695,000</b>	<b>△ 5,896,208</b>	<b>△ 8,012,428</b>	
<b>次期繰越収支差額 (B-C)</b>	<b>96,216,000</b>	<b>114,162,065</b>	<b>19,524,845</b>	

## ② 病理学学術医療振興基金特別会計

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 収入の部</b>			
<b>1. 会費収入</b>	<b>3,000,000</b>	<b>2,500,000</b>	<b>△ 500,000</b>
正会員・学術評議員終身会費収入	3,000,000	2,500,000	△ 500,000
<b>2. 特定資産取崩収入</b>	<b>3,480,000</b>	<b>3,640,000</b>	<b>160,000</b>
学術医療振興基金取崩収入	3,480,000	3,640,000	160,000
<b>3. 雑収入</b>	<b>0</b>	<b>15,922</b>	<b>15,922</b>
受取利息収入	0	15,922	15,922
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>6,480,000</b>	<b>6,155,922</b>	<b>△ 324,078</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>収入合計 (B)</b>	<b>6,480,000</b>	<b>6,155,922</b>	<b>△ 324,078</b>

科目	予算額	決算額	差異
<b>II. 支出の部</b>			
<b>1. 特定預金支出</b>	<b>3,000,000</b>	<b>2,515,922</b>	<b>△ 484,078</b>
学術医療振興基金取得支出	3,000,000	2,515,922	△ 484,078
<b>2. 繰入金支出</b>	<b>0</b>	<b>3,640,000</b>	<b>3,640,000</b>
繰入金支出	0	3,640,000	3,640,000
<b>3. 予備費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>3,000,000</b>	<b>6,155,922</b>	<b>3,155,922</b>
<b>当期収支差額 (A-C)</b>	<b>3,480,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,480,000</b>
<b>次期繰越収支差額 (B-C)</b>	<b>3,480,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 3,480,000</b>

## ③ 病理学国際交流基金特別会計

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 収入の部</b>			
<b>1. 雑収入</b>	<b>0</b>	<b>4,016</b>	<b>4,016</b>
受取利息収入	0	4,016	4,016
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>0</b>	<b>4,016</b>	<b>4,016</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

収入合計 (B)	0	4,016	4,016
----------	---	-------	-------

(単位: 円)

科目	予算額	決算額	差異
<b>II. 支出の部</b>			
<b>1. 特定預金支出</b>	0	4,016	4,016
学術医療振興基金取得支出	0	4,016	4,016
<b>2. 予備費</b>	0	0	0
当期支出合計 (C)	0	4,016	4,016
当期収支差額 (A-C)	0	0	0
次期繰越収支差額 (B-C)	0	0	0

## 2) 収支計算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位: 円)

科目	合計	一般会計	病理学学術 医療振興基金 特別会計	病理学 国際交流基金 特別会計
<b>I. 収入の部</b>				
1. 基本財産運用収入	6,013	6,013	0	0
2. 会費収入	69,304,000	66,804,000	2,500,000	0
3. 事業収入	162,006,292	162,006,292	0	0
4. 補助金収入	5,100,000	5,100,000	0	0
5. 寄付金収入	3,135,000	3,135,000	0	0
6. 特定資産取崩収入	33,783,457	30,143,457	3,640,000	0
7. 雑収入	8,850,830	8,830,892	15,922	4,016
8. 繰入金収入	3,640,000	3,640,000	0	0
当期収入合計	285,825,592	279,665,654	6,155,922	4,016
前期繰越収支差額	120,058,273	120,058,273	0	0
収入合計	405,883,865	399,723,927	6,155,922	4,016
<b>II 支出の部</b>				
1. 事業支出	219,925,119	219,925,119	0	0
2. 管理費	59,822,963	59,822,963	0	0
3. 特定預金支出	6,754,938	4,235,000	2,515,922	4,016
4. 固定資産支出	1,578,780	1,578,780	0	0
5. 繰入金支出	3,640,000	0	3,640,000	0
当期支出合計	291,721,800	285,561,862	6,155,922	4,016
当期収支差額	△ 5,896,208	△ 5,896,208	0	0
次期繰越収支差額	114,162,065	114,162,065	0	0

## 3) 収支計算書に対する注記

## 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前払金、前受金、預り金を含めている。

なお、前期末残高及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位: 円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	139,141,109	130,908,644
未収金	408,855	232,646
前払金	201,243	195,300
合計	139,751,207	131,336,590

未払金	13,106,284	9,512,538
預り金	1,770,000	4,455,987
前受金	4,816,650	3,206,000
合計	19,692,934	17,174,525
次期繰越収支差額	120,058,273	114,162,065

なお、当期より支部会計を合算しており、期首における支部会計の現金預金 27,537,222 円を前期末残高に含めて記載している。

## 4) 一般会計貸借対照表

平成24年3月31日 現在

(単位: 円)

科目	当年度
<b>I. 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	130,908,644
未収金	232,646
前払金	195,300
流動資産合計	131,336,590
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
普通預金	30,000,000
基本財産合計	30,000,000
(2) 特定資産	
100周年記念事業引当資産	25,286,334
退職給付引当預金	7,800,000
特定資産合計	33,086,334
(3) その他固定資産	
保証金	2,508,780
その他固定資産合計	2,508,780
固定資産合計	65,595,114
<b>資産合計</b>	<b>196,931,704</b>
<b>II. 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払金	9,512,538
前受金	3,206,000
預り金	4,455,987
流動負債合計	17,174,525
2. 固定負債	
退職給付引当金	7,800,000
固定負債合計	7,800,000
<b>負債合計</b>	<b>24,974,525</b>
<b>III. 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	
寄付金	5,286,334
指定正味財産合計	5,286,334
(うち特定財産への充当額)	(5,286,334)
2. 一般正味財産	166,670,845
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)
(うち特定財産への充当額)	(20,000,000)
<b>正味財産合計</b>	<b>171,957,179</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>196,931,704</b>

## 5) 一般会計正味財産増減計算書

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
<b>1. 経常増減の部</b>	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	6,013
基本財産受取利息	6,013
② 特定資産運用益	5,128
特定資産受取利息	5,128
③ 受取会費	66,804,000
学術評議員受取会費	25,152,000
一般会員受取会費	28,231,000
機関会員受取会費	355,000
賛助会員受取会費	50,000
病理専門医部会受取会費	13,016,000
④ 事業収益	162,006,292
学術集会収益	115,443,186
論文掲載料収益	1,168,681
広告料収益	599,400
刊行物発行収益	10,816,500
専門医制度収益	18,449,000
病理専門医部会収益	2,302,910
講習会等収益	4,917,000
支部集会等収益	5,644,205
賠償保険事務費収益	2,665,410
⑤ 受取補助金等	5,100,000
受取科学研究費補助金	5,100,000
⑥ 受取寄付金	17,743,457
受取寄付金	17,743,457
⑦ 雑収益	8,825,764
受取利息	18,238
雑収益	8,807,526
⑧ 他会計からの繰入額	3,640,000
病理学学術医療振興基金特別会計からの繰入額	3,640,000
<b>経常収益計</b>	<b>264,130,654</b>
(2) 経常費用	
① 事業費	
学術集会費	118,207,164
学会誌発行費	18,847,459
会報・お知らせ発行費	1,696,375
剖検輯報発行費	14,565,381
専門医制度運営費	12,651,885
病理専門医部会費	7,947,748
学術奨励等費	3,519,561
講習会等経費	4,340,517
各種委員会費	3,319,681
事業人件費	5,008,624
委託費	1,734,330
病理情報ネットワークセンター設立費	1,312,500
100周年記念誌刊行経費	4,678,117
100周年記念事業経費	5,930,557
100周年記念プロジェクト経費	307,363
支部総会等経費	15,857,857
<b>事業費計</b>	<b>219,925,119</b>
② 管理費	
給料手当	12,816,397

退職給付費用	1,618,869
福利厚生費	2,871,378
会議費	5,138,152
旅費交通費	612,370
通信運搬費	2,088,796
消耗什器備品費	84,957
消耗品費	801,200
印刷製本費	1,715,528
光熱水料費	216,331
賃借料	4,080,358
保険料	17,990
諸謝金	3,128,500
租税公課	1,823,300
支払負担金	850,000
支払寄付金	10,000,000
雑費	743,794
<b>管理費計</b>	<b>48,607,920</b>
<b>経常費用計</b>	<b>268,533,039</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 4,402,385</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 4,402,385</b>
一般正味財産期首残高	171,073,230
一般正味財産期末残高	166,670,845
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
① 受取寄付金	2,635,000
受取寄付金	2,635,000
② 一般正味財産への振替額	△ 17,243,457
一般正味財産への振替額	△ 17,243,457
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 14,608,457</b>
指定正味財産期首残高	19,894,791
指定正味財産期末残高	5,286,334
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>171,957,179</b>

## 6) 病理学学術医療振興基金特別会計貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日 現在

(単位: 円)

科目	当年度
<b>I. 資産の部</b>	
<b>1. 流動資産</b>	
流動資産合計	0
<b>2. 固定資産</b>	
(1) 特定資産	
学術医療振興基金引当預金	98,751,098
特定資産合計	98,751,098
固定資産合計	98,751,098
<b>資産合計</b>	<b>98,751,098</b>
<b>II. 負債の部</b>	
負債合計	0
<b>III. 正味財産の部</b>	
<b>1. 指定正味財産</b>	
指定正味財産合計	0

2. 一般正味財産	98,751,098
(うち特定財産への充当額)	( 98,751,098)
正味財産合計	98,751,098
負債及び正味財産合計	98,751,098

7) 病理学学術医療振興基金特別会計正味財産増減計算書

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで  
(単位: 円)

科 目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 特定資産運用益	15,922
特定資産受取利息	15,922
② 受取会費	2,500,000
終身受取会費	2,500,000
経常収益計	2,515,922
(2) 経常費用	
① 他会計への繰出額	3,640,000
一般会計への繰出額	3,640,000
経常費用計	3,640,000
当期経常増減額	△ 1,124,078
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,124,078
一般正味財産期首残高	99,875,176
一般正味財産期末残高	98,751,098
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>98,751,098</b>

8) 病理学国際交流基金特別会計貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	当年度
<b>I. 資産の部</b>	
1. 流動資産	
流動資産合計	0
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
国際交流基金引当預金	20,143,660
特定資産合計	20,143,660
固定資産合計	20,143,660
資産合計	20,143,660
<b>II. 負債の部</b>	
負債合計	0
<b>III. 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	20,143,660
(うち特定財産への充当額)	( 20,143,660)
正味財産合計	20,143,660
負債及び正味財産合計	20,143,660

9) 病理学国際交流基金特別会計正味財産増減計算書

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで  
(単位: 円)

科 目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 特定資産運用益	4,016
特定資産受取利息	4,016
経常収益計	4,016
(2) 経常費用	
経常費用計	0
当期経常増減額	4,016
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	4,016
一般正味財産期首残高	20,139,644
一般正味財産期末残高	20,143,660
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>20,143,660</b>

## 10) 貸借対照表総括表

成 24 年 3 月 31 日現在  
(単位: 円)

科 目	一般会計	病理学学術 医療振興基金 特別会計	病理学 国際交流基金 特別会計	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1. 流動資産</b>					
預金現金	130,908,644	0	0	0	130,908,644
未収金	232,646				232,646
前払金	195,300				195,300
<b>流動資産合計</b>	<b>131,336,590</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>131,336,590</b>
<b>2. 固定資産</b>					
(1) 基本財産					
普通預金	30,000,000				30,000,000
<b>基本財産合計</b>	<b>30,000,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>30,000,000</b>
(2) 特定資産					
学術医療振興基金引当預金	0	98,751,098			98,751,098
国際交流基金引当預金	0		20,143,660		20,143,660
100周年記念事業引当資産	25,286,334				25,286,334
退職給付引当預金	7,800,000	7,800,000			
<b>特定資産合計</b>	<b>33,086,334</b>	<b>98,751,098</b>	<b>20,143,660</b>	<b>0</b>	<b>151,981,092</b>
(3) その他固定資産					
保証金	2,508,780				2,508,780
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,508,780</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,508,780</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>65,595,114</b>	<b>98,751,098</b>	<b>20,143,660</b>	<b>0</b>	<b>184,489,872</b>
<b>資産合計</b>	<b>196,931,704</b>	<b>98,751,098</b>	<b>20,143,660</b>	<b>0</b>	<b>315,826,462</b>
<b>II 負債の部</b>					
<b>1. 流動負債</b>					
未払金	9,512,538				9,512,538
前受金	3,206,000				3,206,000
預り金	4,455,987				4,455,987
<b>流動負債合計</b>	<b>17,174,525</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>17,174,525</b>
<b>2. 固定負債</b>					
退職給付引当金	7,800,000				7,800,000
<b>固定負債合計</b>	<b>7,800,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,800,000</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,974,525</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>24,974,525</b>
<b>III 正味財産</b>					
<b>1. 指定正味財産</b>					
寄付金	5,286,334				5,286,334
<b>指定正味財産合計</b>	<b>5,286,334</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,286,334</b>
(うち特定資産への充当額)	(5,286,334)	(0)	(0)	(0)	(5,286,334)
<b>2. 一般正味財産</b>					
166,670,845	166,670,845	98,751,098	20,143,660	285,565,603	
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(0)	(0)	(0)	(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(98,751,098)	(20,143,660)	(0)	(138,894,758)
<b>正味財産合計</b>	<b>171,957,179</b>	<b>98,751,098</b>	<b>20,143,660</b>	<b>0</b>	<b>290,851,937</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>196,931,704</b>	<b>98,751,098</b>	<b>20,143,660</b>	<b>0</b>	<b>315,826,462</b>

## 11) 正味財産増減計算書総括表

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)  
(単位: 円)

科目	一般会計	病理学学術医療振興基金 特別会計	病理学国際交流基金 特別会計	内部取引消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	6,013	0	0	0	6,013
基本財産受取利息	6,013				6,013
② 特定資産運用益	5,128	15,922	4,016	0	25,066
特定資産受取利息	5,128	15,922	4,016	25,066	
③ 受取会費	66,804,000	2,500,000	0	0	69,304,000
学術評議員受取会費	25,152,000				25,152,000
一般会員受取会費	28,231,000				28,231,000
機関会員受取会費	355,000				355,000
賛助会員受取会費	50,000				50,000

終身受取会費	0	2,500,000			2,500,000
病理専門医部会受取会費	13,016,000				13,016,000
④ 事業収益	162,006,292	0	0	0	162,006,292
学術集会収益	115,443,186				115,443,186
論文掲載料収益	1,168,681				1,168,681
広告料収益	599,400				599,400
刊行物発行収益	10,816,500				10,816,500
専門医制度収益	18,449,000				18,449,000
病理専門医部会収益	2,302,910				2,302,910
講習会等収益	4,917,000				4,917,000
支部集会等収益	5,644,205				5,644,205
賠償保険事務費収益	2,665,410				2,665,410
⑤ 受取補助金等	5,100,000	0	0	0	5,100,000
受取補助金等	5,100,000				5,100,000
⑤ 受取寄付金	17,743,457	0	0	0	17,743,457
受取寄付金	17,743,457				17,743,457
⑥ 雑収益	8,825,764	0	0	0	8,825,764
受取利息	18,238				18,238
雑収益	8,807,526				8,807,526
⑦ 他会計からの繰入額	3,640,000	0	0	△ 3,640,000	0
病理学術医療振興基金特別会計からの繰入額	3,640,000			△ 3,640,000	0
経常収益計	264,130,654	2,515,922	4,016	△ 3,640,000	263,010,592
(2) 経常費用					
① 事業費					
学術集会費	118,207,164				118,207,164
学会誌発行費	18,847,459				18,847,459
会報・お知らせ発行費	1,696,375				1,696,375
剖検輯報発行費	14,565,381				14,565,381
専門医制度運営費	12,651,885				12,651,885
病理専門医部会費	7,947,748				7,947,748
支部運営経費	0				0
学術奨励等費	3,519,561				3,519,561
講習会等経費	4,340,517				4,340,517
各種委員会費	3,319,681				3,319,681
事業人件費	5,008,624				5,008,624
委託費	1,734,330				1,734,330
病理情報ネットワークセンター設立費	1,312,500				1,312,500
100周年記念誌刊行経費	4,678,117				4,678,117
100周年記念事業経費	5,930,557				5,930,557
100周年記念プロジェクト経費	307,363				307,363
支部集会等経費	15,857,857				15,857,857
事業費計	219,925,119	0	0	0	219,925,119
② 管理費					
給料手当	12,816,397				12,816,397
退職給付費用	1,618,869				1,618,869
福利厚生費	2,871,378				2,871,378
会議費	5,138,152				5,138,152
旅費交通費	612,370				612,370
通信運搬費	2,088,796				2,088,796
消耗什器備品費	84,957				84,957
消耗品費	801,200				801,200
印刷製本費	1,715,528				1,715,528
光熱水料費	216,331				216,331
賃借料	4,080,358				4,080,358
保険料	17,990				17,990
諸謝金	3,128,500				3,128,500
租税公課	1,823,300				1,823,300
支払負担金	850,000				850,000
支払寄付金	10,000,000				10,000,000
雑費	743,794				743,794
管理費計	48,607,920	0	0	0	48,607,920
③ 他会計への繰出額	0	3,640,000	0	△ 3,640,000	0
他会計への繰出額	0	3,640,000	0	△ 3,640,000	0
経常費用計	268,533,039	3,640,000	0	△ 3,640,000	268,533,039
当期経常増減額	△ 4,402,385	△ 1,124,078	4,016	0	△ 5,522,447
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,402,385	△ 1,124,078	4,016	0	△ 5,522,447

一般正味財産期首残高	171,073,230	99,875,176	20,139,644	0	291,088,050
一般正味財産期末残高	166,670,845	98,751,098	20,143,660	0	285,565,603
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
① 受取寄付金	2,635,000	0	0	0	2,635,000
受取寄付金	2,635,000	0	2,635,000		
② 一般正味財産への振替額	△ 17,243,457	0	0	0	△ 17,243,457
一般正味財産への振替額	△ 17,243,457	0	△ 17,243,457		
当期指定正味財産増減額	△ 14,608,457	0	0	0	△ 14,608,457
指定正味財産期首残高	19,894,791	0	0	0	19,894,791
指定正味財産期末残高	5,286,334	0	0	0	5,286,334
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>171,957,179</b>	<b>98,751,098</b>	<b>20,143,660</b>	<b>0</b>	<b>290,851,937</b>

## 12) 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 当期から、公益法人会計基準（平成16年10月14日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）に基づいて作成している。なお、新会計基準適用初年度のため、前事業年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書の記載は省略している。
- (2) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	99,875,176	2,515,922	3,640,000	98,751,098
国際交流基金引当預金	20,139,644	4,016	20,143,660	
100周年記念事業引当資産	39,894,791	2,899,500	17,507,957	25,286,334
退職給付引当預金	19,100,000	1,600,000	12,900,000	7,800,000
小計	179,009,611	7,019,438	34,047,957	151,981,092
合計	209,009,611	7,019,438	34,047,957	181,981,092

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	30,000,000	—	(30,000,000)	—
小計	30,000,000	—	(30,000,000)	—
特定資産				
学術医療振興基金引当預金	98,751,098	—	(98,751,098)	—
国際交流基金引当預金	20,143,660	—	(20,143,660)	—
100周年記念事業引当資産	25,286,334	(5,286,334)	(20,000,000)	—
退職給付引当預金	7,800,000	—	—	(7,800,000)
小計	151,981,092	(5,286,334)	(138,894,758)	(7,800,000)
合計	181,981,092	(5,286,334)	(168,894,758)	(7,800,000)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 科学研究費補助金	(独) 日本学術振興会	0	5,100,000	5,100,000	0	—
合計		0	5,100,000	5,100,000	0	

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 受取寄付金への振替額	17,243,457
合 計	17,243,457

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳 (単位：円)

① 退職給付債務	7,800,000
② 退職給付引当金	7,800,000

(3) 退職給付費用に関する事項 (単位：円)

① 勤務費用	1,618,869
② 退職給付費用	1,618,869

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

7. その他

当期より支部会計を合算しており、期首における支部会計の一般正味財産 27,537,222 円を一般会計の一般正味財産期首残高に含めて記載している。

13) 財産目録

平成 24 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	金 額			
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現 金 現金手許有高	85,168			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	7,087,924			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	12,820,577			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	40,564,419			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	41,246,020			
普通預金 三菱東京 UFJ 銀行本郷支店	155,883			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	929,459			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	343,684			
普通預金 みずほ銀行本郷支店	2,878,651			
定期預金 みずほ銀行本郷支店	130,164			
郵便振替貯金	523,125			
支部現金預金	24,143,570			
未収金				
学会誌発行収入等	232,646			
			前払金	
			家賃	195,300
			流動資産合計	131,336,590
			2. 固定資産	
			(1) 基本財産	
			普通預金	30,000,000
			(普通 三菱東京 UFJ 銀行本郷支店)	
			基本財産合計	30,000,000
			(2) 特定資産	
			学術医療振興基金引当預金	98,751,098
			(普通 三菱東京 UFJ 銀行春日町支店)	
			国際交流基金引当預金	20,143,660
			(普通・りそな銀行本郷支店)	
			100 周年記念事業引当資産	
			(郵便振替貯金)	25,260,037
			(現 金)	26,297
			退職給付引当預金	7,800,000
			特定資産合計	151,981,092
			(3) その他固定資産	
			保証金	2,508,780

その他固定資産合計	2,508,780		
固定資産合計		184,489,872	
資産合計			315,826,462

科目	金額		
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金			
英文誌印刷費等	2,035,000		
日病会誌印刷費等	6,415,638		
未払消費税等	368,900		
未払法人税等	693,000		
前受金			
平成24年度会費・部会費等	3,206,000		
預り金			
英文誌カラー印刷	3,766,000		
社会保険料	202,419		
源泉所得税	206,060		
市区民税	158,200		
雇用保険料	89,428		
保険料	33,880		
流動負債合計		17,174,525	
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,800,000		
固定負債合計		7,800,000	
負債合計			24,974,525
正味財産			290,851,937

## 5. 平成24年度修正収支予算の報告

支部の収支計画の合算と、会計基準の問題で、正味財産増減予算書を付けた形で標記修正収支予算書が提案され、協議の結果承認された。

### 1) 平成24年度収支予算書（修正案）

平成24年4月1日から平成25年3月31日

(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I. 収入の部</b>			
1. 基本財産運用収入	10,000	15,000	△ 5,000
受取利息収入	10,000	15,000	△ 5,000
			0
2. 会費収入	55,990,000	57,630,000	△ 1,640,000
正会員・学術評議員会費収入	20,000,000	22,400,000	△ 2,400,000
同一般員会費収入	23,500,000	22,740,000	760,000
学生会員会費収入	10,000	10,000	0
賛助員会費収入	100,000	150,000	△ 50,000
機関員会費収入	380,000	330,000	50,000
病理専門医部員会費収入	12,000,000	12,000,000	0
			0
3. 事業収入	141,198,000	131,700,000	9,498,000
学術集会収入	90,000,000	90,000,000	0
論文掲載料収入	900,000	900,000	0
広告料収入	800,000	800,000	0
刊行物発行収入	12,000,000	13,000,000	△ 1,000,000
専門医制度収入	17,000,000	16,000,000	1,000,000
病理専門医部会収入	3,700,000	4,000,000	△ 300,000
講習会等収入	5,000,000	4,500,000	500,000
支部総会等収入	9,298,000		9,298,000
賠償責任保険事務費収入	2,500,000	2,500,000	0

4. 特定資産取崩収入	4,400,000	25,000,000	△ 20,600,000
100周年記念事業引当預金取崩収入	1,000,000	25,000,000	△ 24,000,000
「100周年記念特別基金」準備預金取崩収入	3,400,000	0	3,400,000
			0
5. 雑収入	2,050,000	2,100,000	△ 50,000
受取利息収入	50,000	100,000	△ 50,000
雑収入	2,000,000	2,000,000	0
			0
6. 他会計からの繰入金収入	3,650,000	0	3,650,000
病理学術医振興基金特別会計からの繰入金収入	3,650,000	0	3,650,000
			0
当期収入合計 (A)	207,298,000	216,445,000	△ 9,147,000
前期繰越収支差額	114,162,065	92,521,000	21,641,065
収入合計 (B)	321,460,065	308,966,000	12,494,065

(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>II. 支出の部</b>			
1. 事業費	173,606,000	166,000,000	7,606,000
学術集会経費	90,000,000	89,000,000	1,000,000
学会誌発行経費	16,000,000	15,000,000	1,000,000
会報・お知らせ発行経費	1,500,000	2,000,000	△ 500,000
剖検報刊行経費	10,000,000	11,000,000	△ 1,000,000
専門医制度運営経費	10,000,000	10,000,000	0
病理専門医部会経費	8,000,000	8,000,000	0
学術奨励等経費	3,500,000	3,000,000	500,000
講習会等経費	3,500,000	3,500,000	0
各種委員会経費	4,000,000	3,500,000	500,000
事業人件費	5,000,000	8,000,000	△ 3,000,000
100周年記念事業経費	0	13,000,000	△ 13,000,000
病理情報ネットワークセンター運営費	1,000,000	0	1,000,000
「100周年記念特別基金」プロジェクト経費	3,400,000	0	3,400,000
支部総会等経費	17,706,000	0	17,706,000
2. 管理費	30,500,000	32,050,000	△ 1,550,000
人件費	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
福利厚生費	2,000,000	2,500,000	△ 500,000
交通費	450,000	400,000	50,000
通信運搬費	2,500,000	2,700,000	△ 200,000
会議費	2,200,000	2,000,000	200,000
印刷費	2,000,000	2,000,000	0
備品費	200,000	200,000	0
消耗品費	400,000	300,000	100,000
光熱費	250,000	250,000	0
賃借料	4,000,000	4,000,000	0
諸会費	900,000	900,000	0
修繕費	100,000	100,000	0
嘱託料	3,000,000	2,500,000	500,000
租税公課 (消費税等)	1,000,000	700,000	300,000
(法人税等)	3,000,000	3,000,000	0
雑費	500,000	500,000	0
3. 特定預金支出	1,600,000	13,600,000	△ 12,000,000
退職給与引当預金取得支出	1,600,000	1,600,000	0
100周年記念事業引当預金取得支出	0	12,000,000	△ 12,000,000
4. 予備費	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
当期支出合計 (C)	206,706,000	212,750,000	△ 23,650,000
当期収支差額 (A-C)	592,000	3,695,000	1,745,000

次期繰越収支差額 (B-C)	114,754,065	96,216,000	2,520,000
----------------	-------------	------------	-----------

- (注) 1 短期借入金 (収支予算書に計上されているものを含む)  
最高限度額 0円
- 2 債務負担額 0円

### ② 病理学学術医療振興基金特別会計

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I. 収入の部</b>			
1. 会費収入	3,000,000	3,000,000	0
正会員・学術評議員終身会費収入	3,000,000	3,000,000	0
2. 特定資産取崩収入	3,650,000	0	△3,650,000
学術医療振興基金取崩収入	3,650,000	0	△3,650,000
3. 雑収入	15,000	0	△15,000
受取利息収入	15,000	0	△15,000
当期収入合計 (A)	6,665,000	3,000,000	△3,665,000
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計 (B)	6,665,000	3,000,000	△3,665,000

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>II. 支出の部</b>			
1. 特定預金支出	3,015,000	3,000,000	△15,000
学術医療振興基金取得支出	3,015,000	3,000,000	△15,000
2. 他会計への繰出金支出	3,650,000	0	△3,650,000
一般会計への繰出金支出	3,650,000	0	△3,650,000
3. 予備費	0	0	0
当期支出合計 (C)	6,665,000	3,000,000	△3,665,000
当期収支差額 (A-C)	0	0	0
次期繰越収支差額 (B-C)	0	0	0

- (注) 1 短期借入金 (収支予算書に計上されているものを含む)  
最高限度額 0円
- 2 債務負担額 0円

### ③ 病理学国際交流基金特別会計

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I. 収入の部</b>			
1. 雑収入	5,000	0	△5,000
受取利息収入	5,000	0	△5,000
当期収入合計 (A)	5,000	0	△5,000
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計 (B)	5,000	0	△5,000

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>II. 支出の部</b>			
1. 特定預金支出	5,000	0	△5,000
学術医療振興基金取得支出	5,000	0	△5,000
2. 予備費	0	0	0
当期支出合計 (C)	5,000	0	△5,000

当期収支差額 (A-C)	0	0	0
次期繰越収支差額 (B-C)	0	0	0

- (注) 1 短期借入金 (収支予算書に計上されているものを含む)  
最高限度額 0円
- (注) 2 債務負担額 0円

### 2) 収支予算書総括表 (案)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	合計	一般会計	病理学学術医療振興基金特別会計	病理学国際交流基金特別会計
<b>I 収入の部</b>				
1. 基本財産運用収入	10,000	10,000	0	0
2. 会費収入	58,990,000	55,990,000	3,000,000	0
3. 事業収入	141,198,000	141,198,000	0	0
4. 特定資産取崩収入	8,050,000	4,400,000	3,650,000	0
5. 雑収入	2,070,000	2,050,000	15,000	5,000
6. 繰入金収入	3,650,000	3,650,000	0	0
当期収入合計	213,968,000	207,298,000	6,665,000	5,000
前期繰越収支差額	114,162,065	114,162,065	0	0
収入合計	328,130,065	321,460,065	6,665,000	5,000
<b>II 支出の部</b>				
1. 事業支出	173,606,000	173,606,000	0	0
2. 管理費	30,500,000	30,500,000	0	0
3. 特定預金支出	4,620,000	1,600,000	3,015,000	5,000
3. 繰入金支出	3,650,000	0	3,650,000	0
4. 予備費	1,000,000	1,000,000	0	0
当期支出合計	213,376,000	206,706,000	6,665,000	5,000
当期収支差額	592,000	592,000	0	0
次期繰越収支差額	114,754,065	114,754,065	0	0

### 3) 平成24年度 正味財産増減予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
<b>1. 経常増減の部</b>	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	10,000
基本財産受取利息	10,000
② 特定資産運用益	35,000
特定資産受取利息	35,000
③ 受取会費	58,990,000
学術評議員受取会費	20,000,000
終身会員受取会費	3,000,000
一般会員受取会費	23,500,000
学生会員受取会費	10,000
機関会員受取会費	380,000
賛助会員受取会費	100,000
病理専門医部会受取会費	12,000,000
④ 事業収益	141,198,000
学術集会収益	90,000,000
論文掲載料収益	900,000
広告料収益	800,000
刊行物発行収益	12,000,000

専門医制度収益	17,000,000
病理専門医部会収益	3,700,000
講習会等収益	5,000,000
支部総会等収益	9,298,000
賠償保険事務費収益	2,500,000
⑤ 受取寄付金	4,400,000
受取寄付金	4,400,000
⑥ 雑収益	2,035,000
受取利息	35,000
雑収益	2,000,000
経常収益計	206,668,000
(2) 経常費用	
① 事業費	173,606,000
② 管理費	32,100,000
経常費用計	205,706,000
当期経常増減額	962,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	962,000
一般正味財産期首残高	285,565,603
一般正味財産期末残高	286,527,603
II 指定正味財産増減の部	
① 一般正味財産への振替額	△ 4,400,000
一般正味財産への振替額	△ 4,400,000
当期指定正味財産増減額	△ 4,400,000
指定正味財産期首残高	5,286,334
指定正味財産期末残高	886,334
III 正味財産期末残高	287,413,937

## 6. 定款施行細則及び役員規程変更

深山理事長より定款施行細則並びに役員規定改定案、役員選任選出方法指針の3つの改定案について説明があった。副理事長と常任理事の役割分担をより弾力的に運用するため、常任理事の規定に、財務委員長、学術委員長、病理専門医部会長等の3名という形に、「等」という1文字を入れた案が提示され、協議の結果承認された。

## 7. 病理専門医資格の更新について

日本病理学会病理専門医資格更新の本年度該当者には、学会事務局より必要書類が送付されます。本年度該当者は、第5回（1983年）認定登録者ならびに第5回（1987年）、第10回（1992年）、第15回（1997年）、第20回（2002年）、第25回（2007年）試験合格者になります。該当であるにもかかわらず、10月初旬まで必要書類が送付されない場合は、事務局までご連絡ください。

また、上記以外で更新の手続きが遅れていた方で、本年度に更新申請を希望される方は、事務局までご連絡下さい。必要書類を送付いたします。

資格更新希望者は、平成24年10月31日（必着）までに所定の手続きをおとりください。

## 8. 口腔病理専門医資格の更新について

日本病理学会口腔病理専門医資格更新の本年度該当者には、学会事務局より必要書類が送付されます。本年度該当者は、第5回（1993年）認定登録者ならびに第5回（1997年）、第10回（2002年）、第15回（2007年）試験合格者になります。該当であるにもかかわらず、10月初旬まで必要書類が送付されない場合は、事務局までご連絡ください。

また、上記以外で更新の手続きが遅れていた方で、本年度に更新申請を希望される方は、事務局までご連絡下さい。必要書類を送付いたします。

資格更新希望者は、平成24年10月31日（必着）までに所定の手続きをおとりください。

## 9. 第30回病理専門医試験について

本年度の病理専門医試験は、7月28日（土）、7月29日（日）に名古屋大学会場にて実施されました。

89名が受験して、72名が合格しました（合格率80.9%）。合格者氏名ならびに病理専門医登録番号は、次のとおりです（登録年月日：平成24年8月1日）。

平成24年度病理専門医合格者氏名

認定番号	姓 名	認定番号	姓 名
2943	大江 知里	2971	菊地 智樹
2944	荻野 次郎	2972	中村ハルミ
2945	宋 美紗	2973	西村 啓介
2946	福山 隆一	2974	高澤 啓
2947	太田 諒	2975	木村 芳三
2948	高橋 秀宗	2976	鳥山 茜
2949	井上 雅文	2977	天野 与稔
2950	堀 由美子	2978	立松 明子
2951	福島慎太郎	2979	頼田 顕辞
2952	林 俊哲	2980	江河 勇樹
2953	佐伯 春美	2981	林 博之
2954	造住 誠孝	2982	津山 直子
2955	守都 敏晃	2983	坂本 直也
2956	梅田 茂明	2984	菅原江美子
2957	伊藤 靖	2985	宮居 弘輔
2958	三原 裕美	2986	後藤 啓介
2959	三輪 重治	2987	岩越 朱里
2960	児玉 理恵子	2988	杉本 寛子
2961	鈴木 志保	2989	桑本 聡史
2962	森田 剛平	2990	鈴木 忠樹
2963	堀田 真智子	2991	新井 基展
2964	彭 為霞	2992	市村 隆也
2965	里見 介史	2993	南 優子
2966	大迫 智	2994	新井 悟
2967	岡野 慎士	2995	田辺美樹子
2968	近藤 響子	2996	西村 綾子
2969	榎本 篤	2997	増田 渉
2970	根木真理子	2998	柴原裕紀子

2999	中田 聡子	3007	加藤 智也
3000	伏見 文良	3008	坂東 健次
3001	田中 瑞子	3009	山崎 隆
3002	藤田 裕美	3010	高田 晋一
3003	田畑 和宏	3011	吉本多一郎
3004	柳内 充	3012	谷内 真司
3005	山本 喜啓	3013	坂田 晃子
3006	山ノ井一裕	3014	原田 義規

また、病理専門医試験実施委員会の委員構成は以下のとおりです。

第30回（平成24年度）（11名）

野島孝之（委員長）、今井 裕、伊藤雅文、小塚祐司、松林 純、森谷鈴子、村田哲也、下山芳江、浦野 誠、山田鉄也、横井豊治

#### 10. 第20回口腔病理専門医試験について

本年度の口腔病理専門医試験は、第30回病理専門医試験と同日、同会場で行われました。

11名が受験して、8名が合格しました（合格率72.73%）。合格者氏名ならびに口腔病理専門医登録番号は、次のとおりです（登録年月日：平成24年8月1日）。

平成24年度口腔病理専門医合格者氏名

口腔認定番号	姓 名		
157	佐藤 文彦	161	山本安希子
158	矢毛石真由美	162	山科 光正
159	山根木康嗣	163	江夏 一彰
160	岡田 康男	164	工藤 保誠

また、口腔病理専門医試験実施委員会の委員構成は以下のとおりです。

第20回（平成24年度）（3名）

仙波伊知郎（委員長）、藤田修一、久山佳代

## お知らせ

### 1. 新学術領域研究「プラズマ医療科学の創成」第1回シンポジウム

日時：2012年9月29日（土）13:00～17:00

会場：弘済会館・4階・会議室「蘭」

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1

TEL：03-5276-0333

<http://plasmamed.jp>

## 日本病理学会認定施設の認定申請（新規）について

第35回（平成24年）の認定審査のための申請を下記の通り受け付けますので、ご通知申し上げます（剖検例が剖検輯報に掲載されていることが必須です）。

1. 申請受付締切 平成24年10月26日（金）必着
  2. 申請に必要な書類
    - 1) 日本病理学会認定施設認定申請書 1通
    - 2) 認定施設認定申請書資料 1通
  3. 申請に必要な書類の請求・送付先  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7階  
社団法人日本病理学会事務局  
TEL：03-6206-9070 FAX：03-6206-9077  
E-mail：jsp-admin@umin.ac.jp
- 

## 日本病理学会登録施設確認申請（新規）について

第35回（平成24年）の登録施設確認を行なうにあたり、下記により確認申請を受け付けますのでご通知申し上げます（剖検例が剖検輯報に掲載されていることが必須です）。

1. 申請受付締切 平成24年10月26日（金）必着
2. 申請に必要な書類
  - 1) 日本病理学会登録施設確認申請書 1通
  - 2) 日本病理学会登録施設被登録承諾書 1通
  - 3) 登録施設確認申請書資料 1通

注意 1) は既に研修施設として認定されている大学の病理学講座・病理部等より申請して下さい。

2) はこれから登録を受けようとする病院より提出して下さい。

3) はこれから登録を受けようとする病院の専任又は非専任の病理医が記入することが望まれます。
3. 申請に必要な書類の請求・送付先  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7階  
社団法人日本病理学会事務局  
TEL：03-6206-9070 FAX：03-6206-9077  
E-mail：jsp-admin@umin.ac.jp